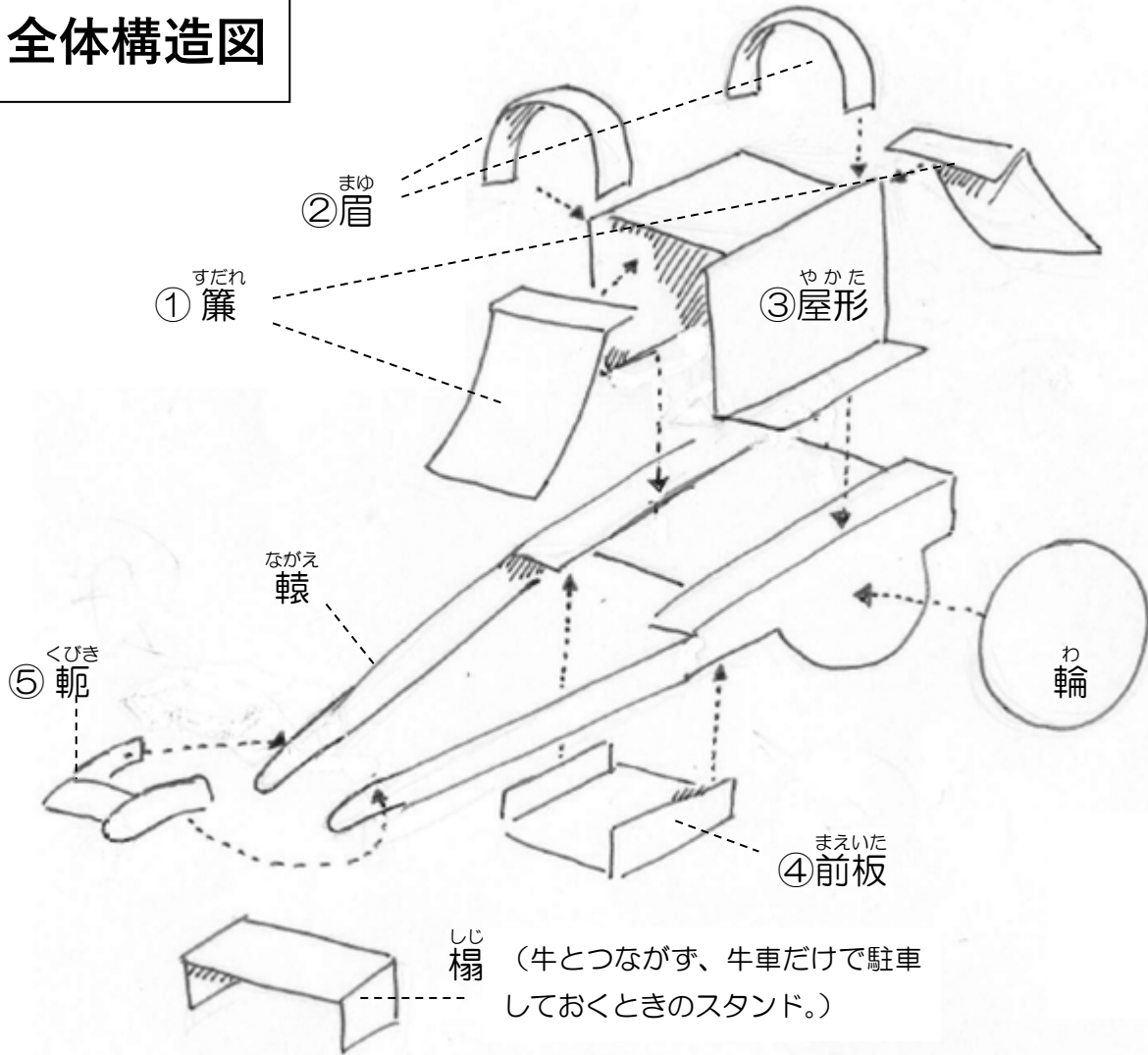
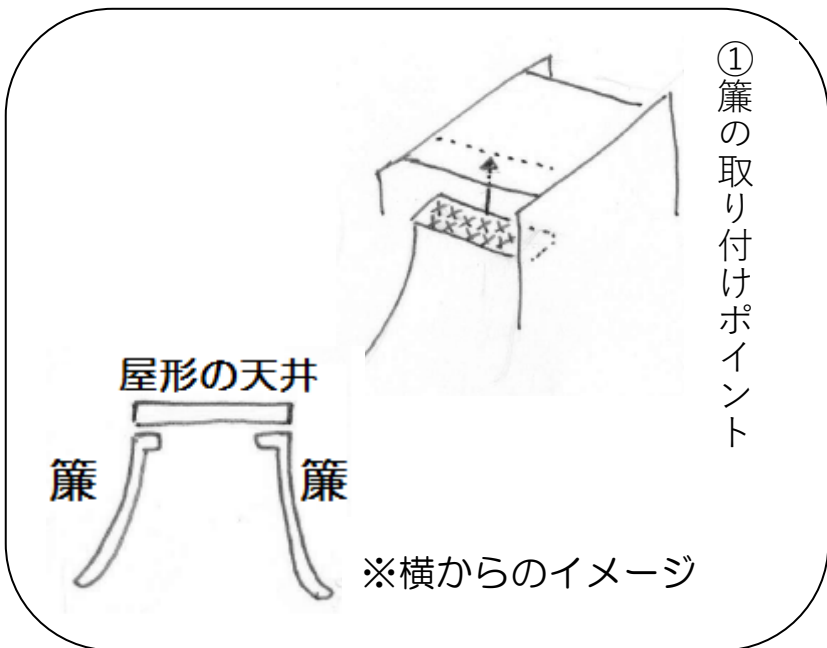


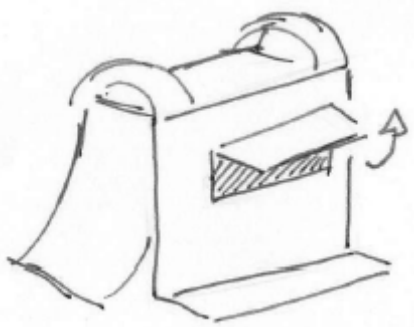
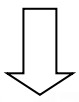
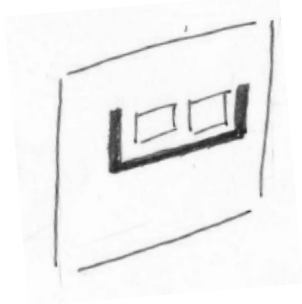
# 牛車ペーパークラフト つくりかた

## 全体構造図



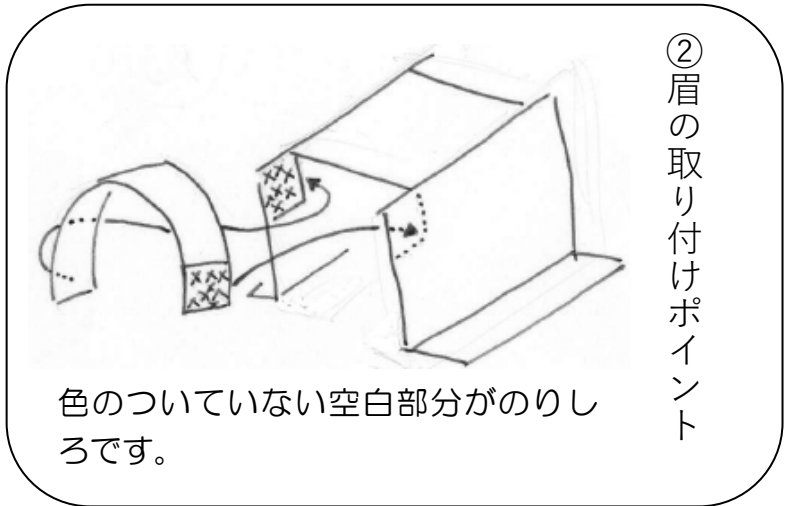
① 屋形に簾を付ける → ② 眉を付ける → ③ 屋形全体を土台（轆のパーツ）に付ける → ④ 前板を付ける → ⑤ 軛を付ける → 輪を付ける  
 という順で組み立てると作業がしやすいです。



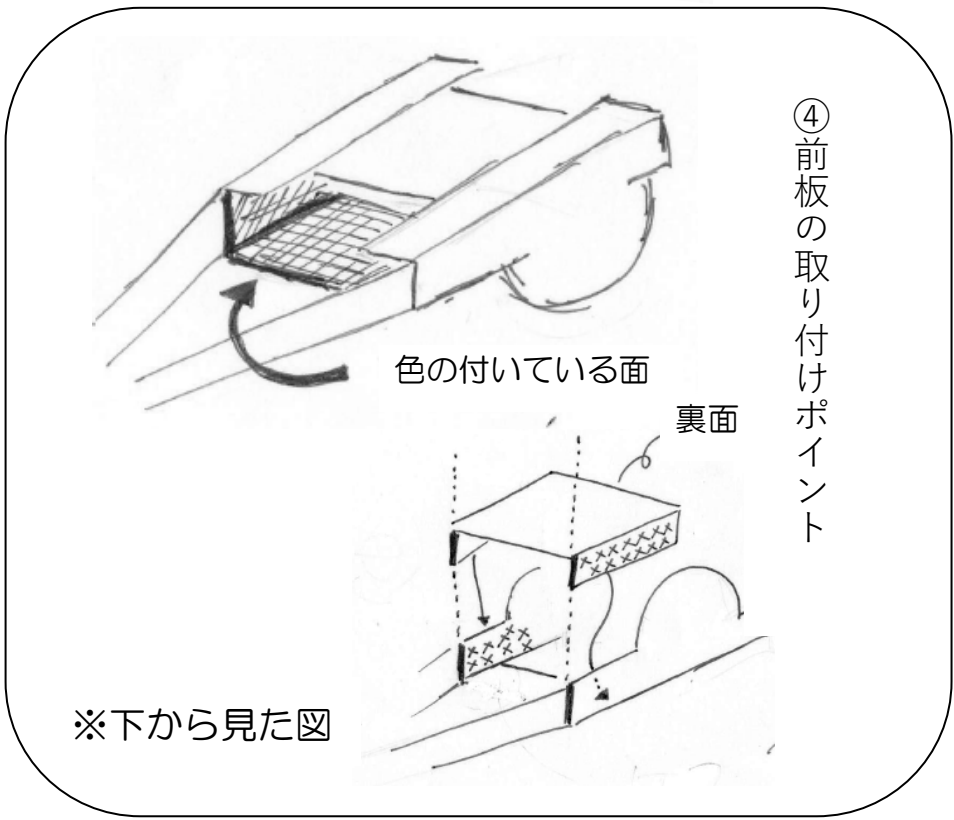
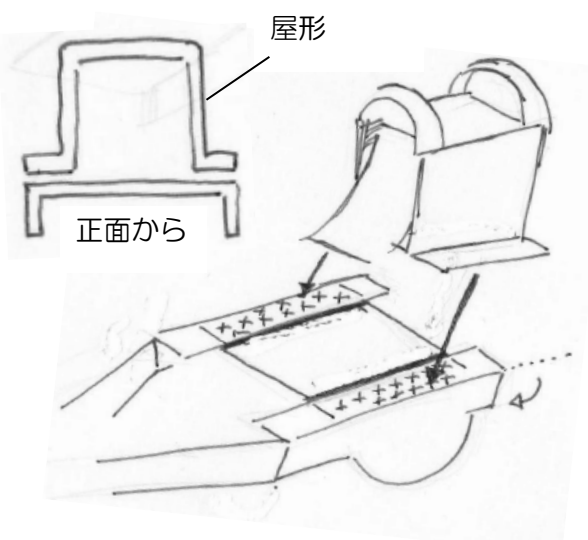


やらなくてもいいけど屋形のワンポイントディテールアップ

「物見」を図のようにカッターなどで切りこみを入れると、上にはね上げられるようになります。当時の「物見」は今の窓のような引き戸タイプもありましたが、このようなはね上げタイプもあります。はね上げる戸は「半部（はじとみ）」といって、このタイプの牛車を「半部車（はじとみぐるま）」といいます。



色のついていない空白部分がのりしろです。

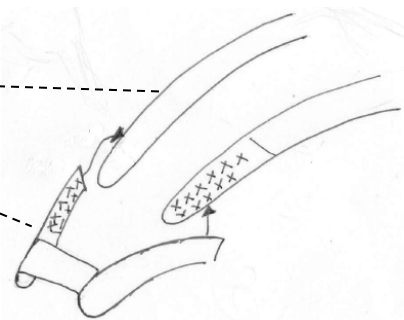


※下から見た図

⑤ 軛の取り付け

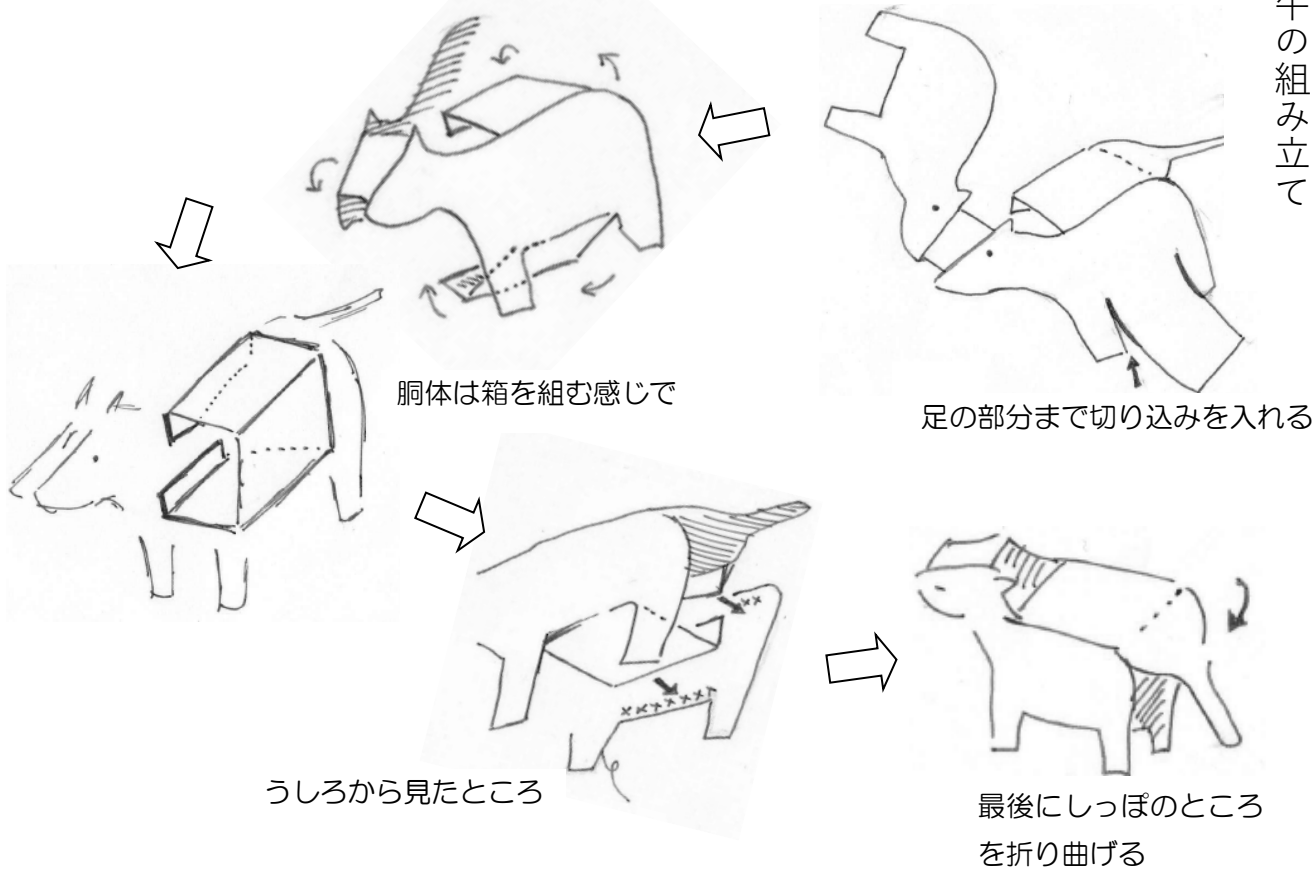
軛(くびき)・・・牛の「首」にかける「木」  
 なので「くびき」。  
 今でも自由にさせてくれないものた  
 えとして使われることも。

軛



\*\*\*\*\*

牛の組み立て



牛ができれば、図のように背中側、首の位置に「軛」を載せてみましょう。  
 軛を首の後ろにのせ、牛に描いてあるように軛に紐をくくりつけて牛と牛車をつないでいました。

完成！

姫君を牛車にのせてみよう

